(その三)

| 工場又は事業場の名称 | 日本ﾌｧｲﾝｺｰﾃｨﾝｸﾞ株式会社<br>千葉工場 |
|---|---|

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 1 | 1 3 | 2 1 | 3 1 | 9 1 | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

（その四）

| 工場又は事業場の名称 | 日本ﾌｧｲﾝｺｰﾃﾝｸﾞｽ株式会社 千葉工場 |
|---|---|

**(3) 自主的取組実績の評価**

**ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

**イ　課題と対策**

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

（その三）

| 工場又は事業場の名称 | ＴＯＴＯプラテック株式会社<br>勝浦工場 |
|---|---|

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | 対策２ | 対策３ | 対策４ | 対策５ | 対策６ | 対策７ | 対策８ | 対策９ | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 1 | 9 4 | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| |

（その四）

| 工場又は事業場の名称 | ＴＯＴＯプラテック株式会社 勝浦工場 |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

{（基準年度の排出等の量　計画年度の排出等の量）／基準年度の排出等の量}×１００

(その三)

| 工場又は事業場の名称 | 株式会社　ニットー |
|---|---|

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | 対策２ | 対策３ | 対策４ | 対策５ | 対策６ | 対策７ | 対策８ | 対策９ | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3　9 | | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策１　クラッチフェーシング部門生産中止に伴うVOCの削減

生産中止前のトルエン消費量　３８４．０００ｋｇ/年

生産中止後のトルエン消費量　　７２．０００ｋｇ/年

低減量　３１２．０００ｋｇ/年　　低減率：８１％

(その四)

| 工場又は事業場の名称 | 株式会社　ニットー |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| Ⓐ | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| 工場又は事業場の名称 | 河村産業株式会社<br>かずさ事業所 |
|---|---|

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 6 | | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| |

（その四）

| 工場又は事業場の名称 | 河村産業株式会社<br>かずさ事業所 |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| Ⓒ | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

基準年度である平成16年当時は対象設備の操業開始後間もない頃であり、
平成22年度に向けて操業度の上昇に比例して有機化合物等の排出量が増加する
ことは既に計画に織り込み済みである。ただし、平成20年に関しては計画値に
対して、同設備の操業度が低かったこともあり、実績排出量は計画比で低減されている。

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

（その三）

| 工場又は事業場の名称 | 日本ドラム株式会社<br>富津工場 |
|---|---|

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 1 | 3 1 | 3 3 | 3 9 | 5 1 | 9 1 | 9 9 | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| 自主的取組計画について |
|---|
| 当社の揮発性有機化合物の削減率は、毎年ﾏｲﾅｽ評価と表記されていますが、 |
| 平成20年の条例公布以前より炭化水素除去装置の設置を行い操業と同時に50％ |
| 以上の揮発性有機化合物の削減を実施しています。 |
| さらに、景気回復に伴い生産量が増加し揮発性有機化合物の取扱量も増加して |
| いますが平成18年10月の工場設立時から密閉型塗装ﾌﾞｰｽ・ｵｰﾄｶﾗｰﾁｪﾝｼﾞｬｰ・塗装焼 |
| 付山型炉等を設置し、揮発性有機化合物の低減に努めています。 |
| 現在では、塗装工程での塗料・ｼﾝﾅｰ缶の蓋閉め・塗装不良率の低減を図り溶剤使 |
| 用量の削減を実施しています。 |
| また、除去装置等のﾒﾝﾃﾅﾝｽや改善を行い能力の維持に努め塗料使用量を削減し |
| 揮発性有機化合物の原単位を、低下させています。 |
| 今後も、処理技術の進展に伴い設備を総合的に検討し、揮発性有機化合物の |
| 削減に努力してまいります。 |
| |
| |

(その四)

| 工場又は事業場の名称 | 日本ドラム株式会社<br>富津工場 |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

評価Ｃとなる事について

当社は、平成18年10月の操業当初から炭化水素除去装置を設置しており、削減計画の基準年である平成19年には既に、揮発性有機化合物の５０％以上の削減を実施しています。

評価の欄がCの評価になっておりますが、平成19年以降、景気の回復と供に生産量も増加する傾向を示し揮発性有機化合物の使用量が増加し削減率をマイナスへ導く要因となっておりますが、20年度に制定された条例の削減目標３０％の設定を上回る５０％の削減を実施しております。

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| 工場又は事業場の名称 | ＤＩＣ ＥＰ（株）<br>袖ケ浦工場 |
|---|---|

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | 対策２ | 対策３ | 対策４ | 対策５ | 対策６ | 対策７ | 対策８ | 対策９ | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ４ ９ | ５ ２ | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

タンク内温を計画通り８５℃→６０℃に低下させ、揮発性有機化合物の分圧を下げることが出来ました。

(その四)

| 工場又は事業場の名称 | ＤＩＣ ＥＰ（株）<br>袖ケ浦工場 |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|---|
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| 工場又は事業場の名称 | 東芝コンポーネンツ㈱ 君津地区 |
|---|---|

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 1 | 2 2 | 3 4 | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

| 工場又は事業場の名称 | 東芝コンポーネンツ㈱ 君津地区 |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

（その三）

| 工場又は事業場の名称 | 東都化成株式会社<br>千葉工場 |
|---|---|

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 2 | 3 9 | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| 基本的に既設は、下記の内容を採用した設備となっております。 |
| ①常温より高い温度の溶剤排気ガス系統に対しては、凝縮コンデンサーと、更に |
| 低温冷媒を通水したアフタークーラーを設置し、大気への溶剤排出を防止しています。 |
| ②同一溶剤系のベントラインを接続することで、移送時の大気への溶剤排出を防止しています。 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

（その四）

評価

| 工場又は事業場の名称 | 東都化成株式会社<br>千葉工場 |
|---|---|

（３）自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成22年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

| |
|---|
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| 工場又は事業場の名称 | 新日鐵化学株式会社 機能材料事業本部<br>回路基板材料事業部 木更津製造所 |
|---|---|

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 1 | 3 1 | 3 4 | 5 2 | 5 4 | 9 1 | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

（その四）

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 新日鐵化学株式会社 機能材料事業本部<br>回路基板材料事業部 木更津製造所 |

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

製造設備の集約化が順調に進んでいます。

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| 工場又は事業場の名称 | 広栄化学工業株式会社<br>工場（袖ケ浦地区） |
|---|---|

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 2 | | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

| 工場又は事業場の名称 | 広栄化学工業株式会社<br>工場（袖ケ浦地区） |
|---|---|

**(3) 自主的取組実績の評価**

**ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| Ⓐ | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

**イ　課題と対策**

| |
|---|
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| 工場又は事業場の名称 | ミマキ電子部品㈱ 君津事業所 |
|---|---|

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 1 | | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

（その四）

| 工場又は事業場の名称 | ミマキ電子部品㈱<br>君津事業所 |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

（その三）

| 工場又は事業場の名称 | 株式会社アベイラス<br>本社工場 |
|---|---|

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 1 | 2 3 | 2 9 | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| 対策３について |
|---|
| 作業工程の見直しによる清浄部位及び回数の削減 |

（その四）

| 工場又は事業場の名称 | 株式会社アベイラス<br>本社工場 |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| (A) | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

| |
|---|
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| 工場又は事業場の名称 | 日本ポリスチレン<br>千葉工場 |
|---|---|

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 9 | | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

千葉県条例において、平成２２年度までに平成１２年度排出量の３０％削減目標が設定されておりますが、弊社単独でなく住友化学（株）千葉工場全体（合弁会社含む）で削減目標を達成する取組みを行っております。その為、住友化学（株）千葉工場全体で優先度を決めて、削減計画を作成しておりますので弊社単独で計画は立案していません。

（その四）

| 工場又は事業場の名称 | 日本ポリスチレン千葉工場 |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

（その三）

| 工場又は事業場の名称 | 日本オキシラン千葉工場 |
|---|---|

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 9 | | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

千葉県条例において、平成２２年度までに平成１２年度排出量の３０％削減目標が設定されておりますが、弊社単独でなく住友化学（株）千葉工場全体（合弁会社含む）で削減目標を達成する取組みを行っております。その為、住友化学（株）千葉工場全体で優先度を決めて、削減計画を作成しておりますので弊社単独で計画は立案していません。

(その四)

| 工場又は事業場の名称 | 日本オキシラン千葉工場 |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

弊社単独でなく住友化学（株）千葉工場全体（合弁会社含む）で削減目標を達成する取組みを行っております。その為、住友化学（株）千葉工場全体で優先度を決めて、削減計画を作成しておりますので弊社単独で計画は立案していません。

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。